

「フクシマ」をどこか遠くの土地の話だと思っていませんか？  
まずは現地で何が起きているのかを知ってください。

緊急講演

# 裸のフクシマ

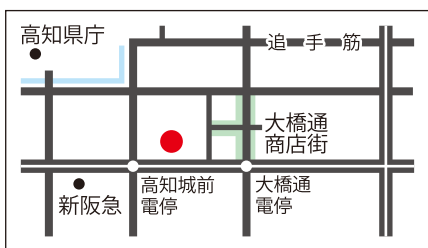
～原発30キロ圏内で暮らしていた著者が真実を語る～

福島第一原発から25キロメートルの福島県川内村に住んでいた作家のたくきよしみつさんは、2011年の東日本大震災で原発事故に遭いました。本講演では、たくきさんに原発事故直後から現在のフクシマの現状を語っていただきます。時が経ち何が問題だったのかを忘れてしまわないように、みんなと一緒に考えましょう。

3月9日(土)

【参加費】無料 【定員】240人

【開場】12時30分 【開演】13時



高新文化ホール

高知市本町3-2-15 高知新聞放送会館東館7階

原発事故後の福島をレポートした著書が朝日新聞など各書評、メディアで話題に!!

【講師】

たくきよしみつ氏

作曲家・作家。1955年福島市出身。上智大学外国語学部英語学科卒業。1991年、原子力、エネルギー問題、現代文明の闇をテーマにした小説『マリアの父親』で第四回小説すばる新人賞受賞。作曲の他、小説、狛犬美術、デジタル文化など多方面で著作多数。2004年から福島県阿武隈山中の川内村に居住。2011年、東電福島第一原発から25kmの自宅で原発被災。その体験から『裸のフクシマ』（講談社）、『3.11後を生きるきみたちへ 福島からのメッセージ』（岩波ジュニア新書）を執筆。

【WEBサイト】<http://takuki.com/>



裸のフクシマ  
原発30km圏内で暮らす  
(講談社)



3・11後を生きるきみたちへ  
—福島からのメッセージ  
(岩波ジュニア新書)

主催／高知ソフィア会 後援／高知市教育委員会、高知新聞社、高知放送、上智大学ソフィア会  
お問い合わせ／TEL:088-832-8555、携帯:090-6283-1085 永野健生税理士事務所まで